

令和3年

# 奥州市教育委員会会議録

第4回定例会 4月26日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和3年4月26日(月)午後3時  
閉会 令和3年4月26日(月)午後4時5分  
開催場所 江刺総合支所 4階 特別会議室

2 出席委員の氏名

1番 高橋 勝 委員(教育長)  
2番 吉田 政 委員(教育長職務代理者)  
3番 高橋 キエ 委員  
4番 及川 憲太郎 委員  
5番 藤田 登茂子 委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

千葉昌教育部長、及川協一教育総務課長、佐藤克洋学校教育課長、  
菊池長学校教育課主幹、鈴木常義歴史遺産課長、佐々木靖郎協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者：小山和彦教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件(議事日程第1号)

第1 委員の議席の決定について

第2 会期の決定

第3 教育長報告 (1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和2年度  
下半期における審議等の状況について  
(2) 令和3年度小・中学校学級編制について  
(3) 令和3年度幼稚園学級編制について  
(4) 令和3年度教職員定期人事異動について  
(5) 生徒指導について  
(6) 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

第3 議案第1号 奥州市奨学生選考委員会委員の委嘱に関し議決を求めること  
について

5 会議の概要

会議に先立ち、部課長の紹介と挨拶

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、秘密会とする議決(教育長報告「(5)生徒指導について」)、秘密会とした教育長報告「(5)生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみを公表することの議決、議案の審議

## 第1 委員の議席の決定について

1番 高橋勝 教育長、2番 吉田政 教育長職務代理者、  
3番 高橋キエ委員、4番 及川憲太郎委員、5番 藤田登茂子委員と決定

## 第2 会期の決定について

本日1日と決定。

## 第3 教育長報告

(1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和2年度下半期における審議等の状況について

千葉教育部長が資料に基づき一括して説明。

### 【要旨】

- ・ 令和2年度上半期の状況については、昨年10月の定例会において報告しているが、今回の報告は、同年度下半期における各附属機関の審議内容等についてお知らせするものであり、付議案件及び審議の状況や、会議における提言の概要につきまして、資料にお示ししたとおりが報告させていただく。

### 【質疑等】

高橋委員：奥州市文化財保護審議会の審議結果において、「無形民俗文化財保持団体の解散等への対応方針については、どのような手順を踏んで指定解除とするのか」とあるが、以前に現況調査等を行ったと伺っている。その中では既に活動を中止及び休止している団体もあるとのことであり、指定解除も考えていかなければならないと感じた。市教育委員会としては、どのような対応を考えているのかお聞きしたい。

鈴木歴史遺産課長：無形民俗文化財保持団体については、後継者不足などにより活動休止となっている団体が多くなっている状況にある。一方、全国的にも指定解除としているケースはなく、このままで良いかという視点で審議を行ったもの。委員からは、しっかりと記録を残して、解散の手続きを進めるガイドラインを検討してみてもどうかという意見や記録・衣装・道具類が紛失しないようにして活動を休止することも考えなければいけないのではないかといった意見をいただいた。市としては、さらに検証・検討を行ったうえで、審議会にお諮りし、進めて行きたいと考えている。

高橋委員：指定解除については、簡単には進まないと感じている。ぜひ、様々な角度からガイドラインの検討や方向性を導き出していきたい。

鈴木歴史遺産課長：これまでの伝統を後世へ繋ぐためという目的に鑑みれば、地域などを超えて、興味のある方に伝統を継承していただくことも団体の維持につながるものと思われる。

吉田委員：給食費の値上げについては、どうなったのか。

及川教育総務課長：令和2年度より、牛乳単価上昇分の値上げを実施している。

吉田委員：値上げにより、内容的に充実したのかどうかお聞きしたい。

千葉教育部長：令和2年度においては、牛乳単価の上昇分を値上げした。以前と比べ回数を増やすなどし、充実させたところもある。これは第1段階であり、今後、第2弾として、消費税増税分については、検討していくこととなる。

及川委員：審議会において、コロナの影響等も踏まえWeb形式による会議などは行ったのか。また、Web会議をするためのバックアップ（支援）があっても良いのではないか。人数の多い会議においては、ハイブリッドの形式でも良いのではないか。

鈴木歴史遺産課長：審議会においてのWeb会議は行っていないが、文化庁とはリモートによる協議を実施した。文化財の委員には、東京近郊の委員もいることから、今後、委員の意見も聞きながら対応していく必要があると感じている。

「(2) 令和3年度小・中学校学級編制について」から「(4) 令和3年度教職員定期人事異動について」まで、佐藤学校教育課長が資料に基づき一括して説明。

#### 【要旨】

##### (2) 令和3年度小・中学校学級編制について

- ・ 資料No.1の中で7ページが小学校の総括表になっている。
- ・ 小学校の学級編制について。4月2日現在の児童数の合計は5,268名(5,451)で、昨年度から183名減っている。真城小学校の児童数が204名なので、同じ規模の学校1つ分の人数が減ったことになる。人口減、子どもの数の減少の傾向は、今後も続くものと思われる。
- ・ 単式の学級数が200学級で、昨年度に比べて8学級減となった。今年度、単式学級は、国の基準で1・2年生が35人学級、県の基準で3年生から6年生までが35人学級となった。児童数そのものの減により、学級数も減少となった。
- ・ 複式学級は11校に24学級だった。昨年度から2学級増となっている。この11校に対し、県から小規模校支援のための常勤講師が1校（木細工）、複式指導加配が6校（黒石、田原、藤里、伊手、玉里、広瀬）に配置されている。この複式加配は今年度から県単費で行うものに変更、複式解消としてT1単独授業ができるようになる。すこやかサポート（30人超学級）は3校（佐倉河、江刺愛宕、南都田）に配置されている。その他、市費負担支援員として小集団指導対応を7校（水沢、水沢南、常盤、岩谷堂、田原、広瀬、前沢）に配置している。
- ・ 特別支援学級の数53学級で、昨年度より2学級増えている。これは、対象児童の卒業により廃止となった学級（常盤4年）が1学級あった反面、特別支援学級の新設が3校（水沢南1年、黒石1年、岩谷堂3年）となったため、2学級の増となったもの。特別支援学級に在籍する児童数も、昨年度は145名だったが、今年度は154名で9名増えており、全体の児童数が減少している中、特別支援学級の児童数は増えているので、特別な支援が必要な児童の割合が高くなっている（2.9%（昨年度2.6%））。市としては、特別支援教育支援員を昨年度より2名増やして（44名）対応している。

資料No.1の中で10ページが中学校の総括表になっている。

- ・ 中学校について「生徒数の総計」は2,885名(2,850)で、昨年度から35名の増。卒業生の数を新入生の数が上回った分となる。単式の学級数は93

で(92)で、昨年度に比べ1学級の増となった。学校ごとに見ると、各学年3学級以上の学校が6校ある反面、学年1学級の学校も1校(江刺南中)あり、学校規模の差が大きくなっている。これにより、学年1学級の学校では部活動の選択肢が狭くなるなどの問題も出てきている。

- ・ 特別支援学級の数は22学級で、昨年度より1学級の減。内訳は、対象生徒の卒業による学級減が2校(江刺一、前沢)に対し、在籍生徒が増えたことによる学級増が1校1学級(江刺一2)あった。特別支援学級の生徒数は71名(61)で生徒数全体に占める割合は約2.4%となっており、0.2ポイントの増となっている。市としては、小学校同様、特別支援教育支援員5校に8名配置している。

### (3) 令和3年度幼稚園学級編制について

資料は11ページとなる。

- ・ 幼稚園学級編制について、公立幼稚園の状況については、平成29年度から入園児が減少している。令和2年度118人に対し、令和3年度は、114人で4人の減少となっている。ただし、3つの認定こども園では29名増加しているため、幼稚園・認定こども園合わせて25名増加している。学級編制は、羽田幼稚園、岩谷堂幼稚園、若柳幼稚園に幼稚園複式学級となっている。

### (4) 令和3年度教職員定期人事異動について

資料は12ページとなる。

- ・ 退職者数は31名で、昨年度(34)より3名の減。異動者は、(1)の奥州市内での異動が38名で、昨年度(52)より14名の減で、例年より少ない数となった。(2)の他市町村への異動(転出)は73名で、昨年度(60)より13名の増となった。増加した要因の一つとして、地区経験の未充足を補うための異動が多かったことが挙げられる。(4)の他市町村からの異動(転入)は63名で、昨年度(71)より8名の減となった。校長・副校長の転入が合わせて23名と多いのが特徴。新規採用数は、25名で、ほぼ昨年度と同じ規模となった。管理職等への昇任は、副校長に5名、主幹教諭に3名、事務長に1名の合計9名の昇任があった。校長昇任がなかった分、全体での昇任数が減となっている。以上により、全体の異動総数は230名で、昨年度に比べ10名の減となった。退職を含めた「出」が103名、新採用を含めた「入り」が88名で、教員数は昨年度より15名の減となり、すべて小学校の欠員となっている。これは、今後の学校統廃合を見越した動きだが、欠員を埋めることによる講師不足があり、現段階で小学校への加配分4名(水沢南、姉体、胆沢第一、南都田)が未配置になっている。

### 【質疑等】

吉田委員：教員の配置について、講師等で少人数指導とか特別支援員の講師などを見つけることが大変とかあったようだが、今年の充足状況はどうなっているのか。また、幼稚園でもなかなか見つからない状況のようだが、こちらも今年の状況はどのようになっているのか。

佐藤学校教育課長：小学校の加配分4名が未配置となっているが、それ以外は定数分を配置されている。病休・休職を含め小学校で常勤が36名ついている。このうち4名が不足している。県においては、4月一杯で不足分は切ることとしており、未補充のままの方向となっている。幼稚園は、11名いたが、若柳幼稚園で1名が不足しているため、募集をしている。他の幼稚園からの協力を借り補っている。

吉田委員：市単独による特別支援教育支援員は、不足しているところもあったと記憶しているが、今年は不足もなくきちんと配置されているのか。

佐藤学校教育課長：小中併せて44名配置しており、昨年度より2名増となっている。

吉田委員：再任用希望者は、全員採用されているのか。どれくらいいるのか。

佐藤学校教育課長：小学校に特別支援枠3名があり、再任用により3名配置しており、全て希望した者の配置となっている。そのほか再任用で、小学校の常勤に10名、短時間が13名、養護教諭が3名、事務3名が配置されている。中学校は常勤が1名、短時間が5名配置されている。

高橋委員：小学校4名の不足分は、どうするのか。

佐藤学校教育課長：加配分の不足であり、定数は満たしている。県費による配置については、常勤が難しい状況となっている。

高橋委員：35人学級による影響もあるのか。

佐藤学校教育課長：35人学級の影響ではなく、人が不足しているもの。

教育長：県下の場合、教科の関係もあって、なかなか人がいない状況。全県的に常勤で人がいないということも考え方を変えなければならない。短時間勤務でも入っていただければ助かる。

藤田委員：特別支援学級を設置していない学校が7校あるが、特別支援員が44名としても不足しているのではないかと。また、配置されていない学校もあるのではないかと。

佐藤学校教育課長：支援員については、不足している状況である。人数が少ない学級については、担任が対応している状況となっている。

教育長：特別支援を必要とする人数も増えており、要望も増えている。

吉田委員：特別支援については、専門的な知見も必要であり、そのための研修なども必要ではないかと。

佐藤学校教育課長：研修については大切であると考えている。一方で、ある程度、専門的な知識がある方が担任とならないケースもある。県では、県のセンターや県南教育事務所のコーディネーターを活用するとともに、市による支援員の研修などにより、担任の補助をしていく研修を行っている。

吉田委員：研修を通じ、学校全体での子どもたちに対する指導などがレベルアップしていくよう進めていただきたい。

教育長：研修によって、教員の資質向上が大きなポイントである。

#### (5) 生徒指導について

※ 説明要旨及び質疑等の内容は非公開。

(6) 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

詳細について、菊池学校教育課主幹が資料に基づき説明。

【要旨】

- ・ 事前配布資料P18 から P 20 のとおり説明。

【質疑等】

高橋委員：臨時休業などの対応及び判断はどの様になっているのか。また、今回は臨時休業を行ったのか。

佐藤学校教育課長：臨時休業については、保健所からの指導に従い対応することとなる。今回、春休み期間中であったことから大きく拡がらなかったが、PCR検査の対象者がかなり多かった。一定程度の期間を空けるという判断のもと、臨時休業により、伊手小、岩谷小で始業式・入学式を延期した。それ以外の学校に対しては、保健所からの情報が、どこ・誰ということが分からないので、それぞれ地域からの情報を収集し入学式を行った。

教育長：昨年に打ち出された国の方針も変更されている。方針に沿った対応をしていく。

吉田委員：奥州市においても感染者が増えている状況。今後の対応はどのようになるのか。

佐藤学校教育課長：10代の感染者が発生した場合、児童生徒であれば保健所から情報が入ることとなっている。該当する小中学校にも連絡がいくが、それ以外は何もない状況なので、学校には、何も連絡がなければ、該当地域は大丈夫であると周知している。また、保健所からもある程度の情報はあるので、できる限りの情報提供はしていきたい。

吉田委員：この件については、「知りたい」という気持ちがある一方、「知ったら」誹謗中傷につながる恐れもある。学校としては、分かった段階で対応しなければならないので、十分に考えながら、公表も含め対応していただきたい。

教育長：今回の公表においては、市の対策本部において学校名を公表することと決めた。

及川委員：コロナに対するバージョンも変わってきている。現場では、情報がないことに対し不安を抱えている。早めの情報提供で安心すると思われる。

佐藤学校教育課長：保健所から学校及び学校以外の情報も提供いただいている。現場を安心させるためにも、早期の情報提供に努めていく。

以上で教育長報告を終わる。

第4 議案第1号 奥州市奨学生選考委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて

及川教育総務課長が議案を朗読、千葉教育部長が提案理由を説明し、補足説明を及川教育総務課長が行った。

【提案理由】

- ・ 令和4年5月11日までの任期で委嘱していた奥州市奨学生選考委員会委

員のうち、選出区分が「市内の高等学校長」及び「学識経験者のうち奥州市校長会選出委員」であった方々について、人事異動があったことから、後任の委員を委嘱しようとするもの。

**【補足説明】**

- ・ 人事異動となった選出団体に対し、後任の推薦依頼を行い、推薦されたものを委嘱しようとするもの。

**【質疑等】**

吉田委員：確認だが、委員は3名だけなのか。

及川教育総務課長：委員10名のうち、異動のあった3名を新たに委嘱しようとするもの。

討論なし。

採決の結果、原案のとおり承認することに全員異議なし。

**原案可決。**

閉会